

# こがねい 市議会だより

発行／小金井市議会 編集／議会報編集委員会  
〒184 小金井市本町六丁目6番3号 TEL (0423) 83-1130(直通) FAX (0423) 87-1225

第151号  
12月定例会  
平成6年(1994年)  
2月10日発行



2月14日から業務を開始する市役所第二庁舎

**都市計画税率100分の0.25を  
平成8年度まで延長**

12月定例会

# 議会運営委員会で 政治倫理確立のための調査開始

今定例会では、市長から当初、市税賦課徴収条例の一部改正など議案8件が送付されました。また、職員の給与に関する条例の一部改正及びこれに伴う一般会計補正予算（第5回）など議案6件が追加送付され、合計14件をすべて可決しました。

なお、定例会初日の12月7日には、閉会中継続審査案件としていた決算認定、請願・陳情のうち委員会審査の終了した8件の審査報告、討論、採決を行い、平成4年度一般会計・特別会計決算5件を認定、請願1件、陳情2件を採択しました。また、建設委員会で審査中の「朝日パリオ武藏小金井共同住宅の建築に対して市の慎重な対応を求める陳情」に關し、議会対応に問題があつたとして、市長から陳謝がなされました。

さらに、会期途中の12月10日には、議員から「米の輸入自由化に反対し、食糧の自給確保を求める意見書」が提出され、12月14日の本会議で審議がなされましたが、否決しました。

予算特別委員会では、一般会計補正予算（第4回）で、第二庁舎への組合事務所配置問題に關し、平成5年6月定例会における付帯決議への対応、また、今後のごみ減量対策についてなどをたどした後、付託された一般・特別会計補正予算7件すべてを可決しました。

最終日の12月22日には、委員会付託審査案件の審査報告、討論、採決を行った後、議員から意見書8件が提出され、7件を可決しました。さらに、政治倫理条例制定のための調査を議会運営委員会に付託し、閉会しました。

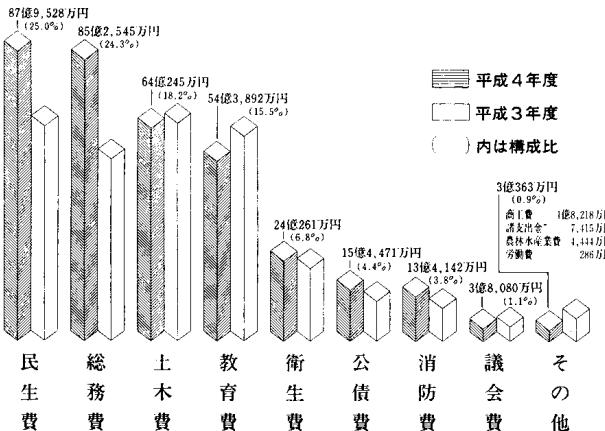
平成5年第4回定例会は12月7日に開会し、  
12月22日  
に閉会しました。

この議会報は再生紙を利用してます。

ごみ減量と資源の再利用に御協力ください。

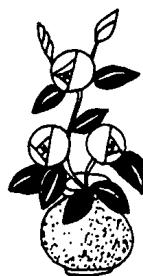
## 平成4年度一般会計歳出決算の内訳 (目的別前年度比較)

平成4年度歳出決算額 351億3,527万円  
(平成3年度歳出決算額 310億5,121万円)



蔵書等の充実が望まれる

答 専門団体は、希望の多いものから購入するなどと配慮しているが、現状では、リクエスト制度を利用して、ただきたいと考えている。C-Dは寄贈図書という取り扱いも含め状況をみながら、また、漫畫については選書会議など、内部で検討していきたい。



## 決算の審議結果

各会派の態度 ○賛成×反対△退席  
会派名下の( )は所属議員数

案 件 名	議 決 結 果	明 政 会(5)	日本共産党(5)	公 明 党(4)	社会党・湧水(3)	新政策イオラム(3)	自 民 党(2)	大 衆 党(2)	生 活 者 ネット(1)
平成4年度東京都小金井市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	×	○	×	○×	○	×	○
平成4年度東京都小金井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	×	○	×	○	○	×	○
平成4年度東京都小金井市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	×	○	○	○	○	○	○
平成4年度東京都小金井市受託水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	×	○	×	○	○	×	○
平成4年度東京都小金井市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	×	○	○	○	○	○	○

平成4年度決算5件を認定

決算特別委員会（議長を除く25名の議員で構成）は、多数で認定するとともに、平成5年11月4日・5日、今例会初日（平成5年12月9日、10日の4日間開催し、月7日）の本会議で委員長平成5年度一般会計歳入歳出算定及び特別会計歳入歳出決算第4件、計5件の審査を行いました。

付すべき特別徴収分は、全額納入されて当然であるが、大半の結果は下段左に掲載）

**第二序合の契約問題** を問う

④ 貸貸借期間を10年と定めて、契約に移行することになる。おり、難しいと考えている。

日本共産党 大鳥議員 第1に、小金井市政史上最大の無駄遣いであるリース契約が執行されている。第2に、工事請負契約における随意契約では、市の契約事務規則におけるものがあつたる、業務委託契約では、70%が随意契約で行われたる。第3に、当初予算から16億円余の減額補正をする一方、計画にもなかつた新小金井駅前広場や美術の森を買収するなど、場当たり的な行政政策を進めたこと。最後に、市長の無計画な財政運営のツケを、市民に回すような来年年度の予算編成は断じて認められないと付言し、反対する。

一般会計決算に対する討論

反對討論（要目）

平成4年度特別会計歳出決算額	
会計別	歳出決算額
国民健康保険特別会計	39億2163万円 (37億 667万円)
下水道事業特別会計	21億8701万円 (21億1910万円)
受託水道事業特別会計	18億7276万円 (18億2200万円)
老人保健医療特別会計	45億8211万円 (43億6830万円)

( ) 内は平成 3 年度歳出決算額



## 議案・請願・陳情の審議結果

各会派の態度 ○賛成×反対△退席  
会派名下の（ ）は所属議員数

請願

隨 情

一政治倫理の確立のための  
小金井市議会議員の資産等の  
公開に関する条例制定して、  
係る調査を行うもので、議  
会運営委員会に付託し、端  
査終了まで、閉会中も継  
続して調査できることになつ  
ています。

政治倫理条例制定のため  
の調査〔議員提出議案—  
全会派〕

本会議で即決

▼小金井市市税賦課徴収係  
総務委員会付託案件

請願・陳情

から次のように陳謝がされ  
おります。



一 平成6年2月から、土地及び家屋に関する証明書の発行方法の変更等に伴う手  
引を設けました。従来の手引と併用して、この手引を参考して下さい。  
また、延長するものです。

数料区分を改定するとともに、閲覧に係る規定を整備するもので、その内容はのとおりです。

土地及び家屋の説明は土地にあっては、1筆を1件とし、家屋にあっては1棟を1件とする。また、地及び家屋の閲覧のうち公簿及び公園については1人1冊(葉)につき30分以内をもつて1回とする

次  
分  
士  
王  
一  
次  
も  
偏  
1件を採択、1件を不採択、32件を  
1件をみなし不採択、32件を  
継続審査としました。また  
1件については、提出者の  
取り下げられました。審議  
果は左表とのおりです。(継  
審査とした案件は8ページ  
掲載)  
なお、5陳情第24号  
パリオ武藏小金井共同住宅  
建築に対して市の慎重な立  
場を求める陳情書に關し、建  
委員会における審査結果が  
ある前に、宅地開発等指導監視  
に基づき同意したことには  
て、12月7日の本会議でま

「朝日・パリオ武蔵小金井共同住宅の建築に対し市への懇意な対応を求める陳情」への対応に問題

5 陳情第24号 朝日パリ  
オ武蔵小金井共同住宅の建築に対する市への懇意な対応を求める陳情書。本件につきましては、建設委員会で  
継続審査中の案件であります。したがって、建設委員長、副委員長等に連絡しないまま、平成5年10月8日付で宅地開発等指導要綱に基づく同意をいたしましたことは、

建設委員長をはじめ、建設委員会の皆様にご迷惑をおかけして大変申し訳なく遺憾に存する次第であります。今後は、かかることのないよう十分注意いたしますとともに、改めて議会の皆様に深くお詫び申し上げるものであります。

## 市長が本会議で陳謝

「朝日・パリオ武蔵小金井共同住宅の建築に対しても市の慎重な対応を求める陳情」への対応に問題

ごみ問題は、環境問題の中でも深刻な社会構造問題として解決を迫られている。リサイクルを進めようにも古紙は需要が鈍く、だぶついて循環しないのが現状である。また、社会構造を変えていくために環境教育は欠かせないが、教科書に使われる紙は、まだ再生紙になつてない。そこで、古紙の需要を増やし、合わせて古紙混入を明記することにより、児童・生徒への環境教育効果をもたらすため、教科書に使用する用紙に古紙を導入するよう強く要する。

提 出 先 ① 内閣総理・文部・通商産業大臣

② 未決結果　長官　自民党

# 「障害者対策に関する新行動計画」推進に あたっての意見書

政府は「一国連・障害者の十年」終了後も障害者施策を一層推進するため、新たな長期的視点に立ち、新行動計画を実現すべき策として、障害者対策に関する新行動計画」を決定した。国際障害者年以降、国よ章者者地域の

卷之三

**提出先** 内閣總理・大蔵・厚生・労働・自治大臣  
**採決結果** 全員賛成

国立病院・療養所における定員外職員の削減をやめ  
看護婦の月8日以内夜勤の実現を求める意見書

看護婦の月8日以内夜勤の実現を求める意見書

厚生省は平成5年12月1日、国立病院・療養所における定員外職員の削減を決定した。看護婦確保法には、「看護婦の確保を図り、国民に良質かつ適切な医療の提供を目的」として、夜勤負担を軽減して、働きやすい職場作りを進めるうえでは、入院する者の状況に応じて複数・月8日以内の夜勤体制による必要がある」と定めている。しかし、厚生省は定員を増やすらず、採用した定員外職員の削減とその処遇の切り下げさえ行おうとしている。

国民の医療要求の高まりと医療技術の高度化に対応するため本市議会は政府に対し、次の事項を強く要請する。

1 定員外常勤職員の削減を行わず、看護婦の「複数・月8日以内の夜勤」を実現すること。

2 定員外常勤職員の処遇切り下げを行わず、早期に定員化すること。

**提出先** 内閣總理・大藏・厚生大臣  
**採決結果** 全員賛成  
總務序長官







